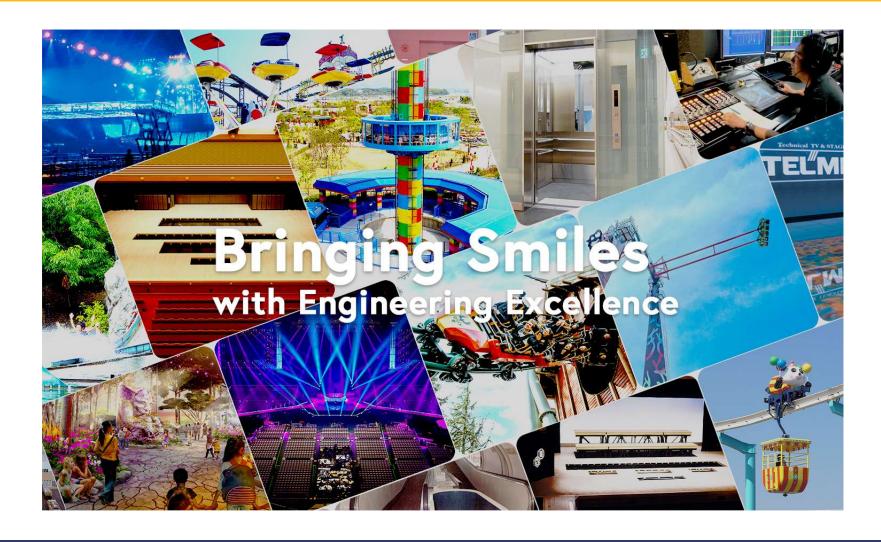
※本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。



2026年3月期中間 決算補足資料

2025年11月13日

東証スタンダード 6357



モノを動かす技術で世界中のお客様にとびきりの笑顔と感動をご提供すべく テルミック、S&S、Vekoma、FORRECと共に 常に技術と品質を追求し 一段の進化・成長を目指します 01 2026年3月期 中間連結業績ハイライト

TABLE OF CONTENTS

02 2026年3月期 連結業績予想

03 トピックス

04 会社概要

2026年3月期 中間業績ハイライト



2026年3月期中間:連結業績ハイライト

(単位:百万円)	2025年3月中間	2026年3月中間	前期比
売上高	27,350	31,981	+4,631
営業利益	475	2,029	+1,554
経常利益	742	2,173	+1,431
親会社株主に帰属 する中間純利益	303	1,197	+894

[売上高] 好調な受注環境のもと、遊戯機械事業および昇降機事業で増収

[営業利益] 好調な需要に加え、前年のような一部不採算工事等がなく大幅増益

2026年3月期中間:セグメント別ハイライト

【セグメント別概況】

遊戯機械

国内外で工事が順調に進捗し、補修部品の需要も引き続き 強かったことに加え、前年にあった一部の不採算工事や債 権回収の遅れによる影響がなく、大幅な増益となりました

舞台設備

コンサートやイベント向け仮設舞台装置の需要が引き続き 順調に推移しましたが、前年に比して好採算の常設舞台の 工事が減少しました

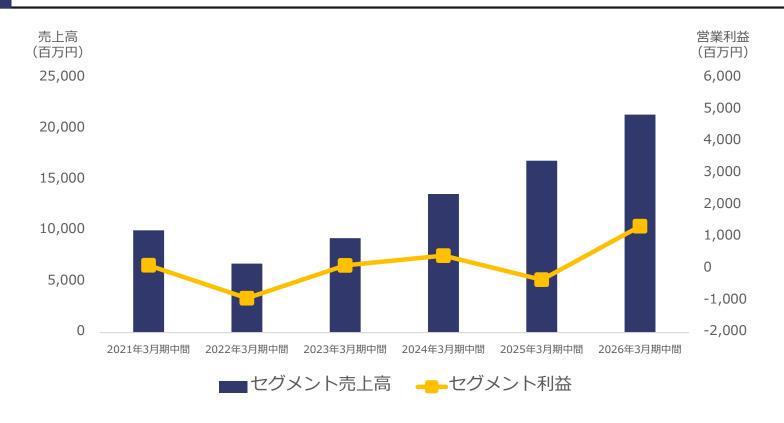
昇降機

公共施設や集合住宅用の改修工事が着実に進捗したことに加え、保守・メンテナンス事業も引き続き堅調に推移しました

【2026年3月期中間セグメント売上高】

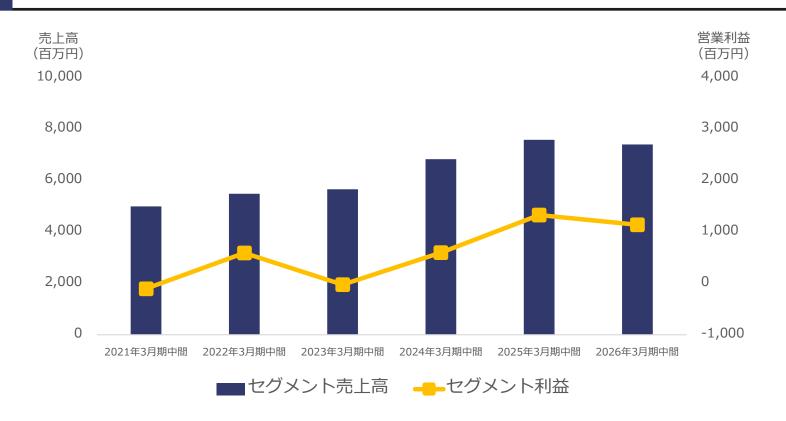


2026年3月期中間:遊戯機械事業



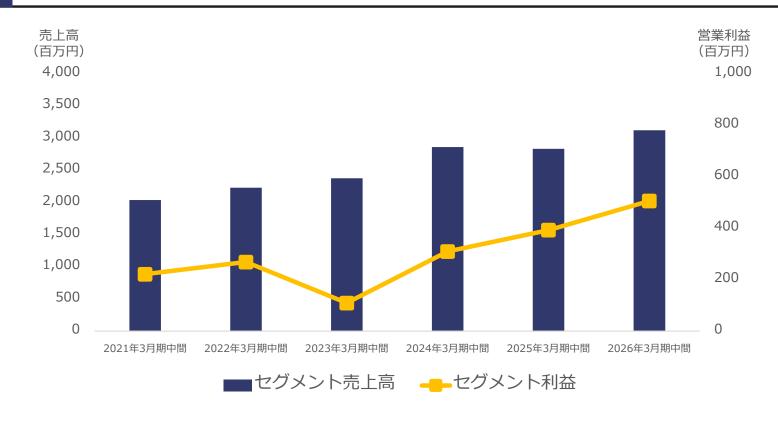
工事が順調に進捗し、補修部品需要も引き続き強く、売上が伸長 前年にあった不採算工事や債権回収の遅れによる影響もなく、大幅増益

2026年3月期中間:舞台設備事業



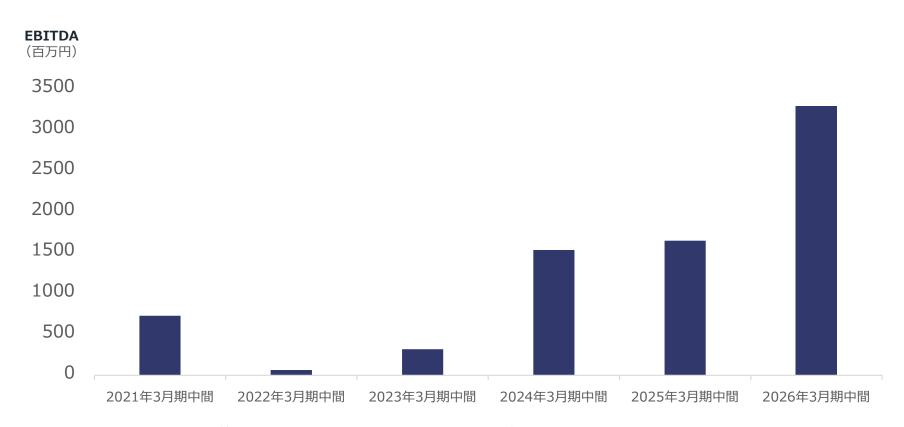
コンサートやイベント向け仮設舞台装置は順調に推移も、 前年に比して好採算の常設舞台の工事が減少し、減収減益

2026年3月期中間:昇降機事業



公共施設や集合住宅用の改修工事が着実に進捗 保守・メンテナンス事業も引き続き堅調に推移し、増収増益

2026年3月期中間:EBITDA(償却前利益注1)



大幅増益によりEBITDAは回復から明確な上昇基調へ

注1: 償却前利益 = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

2026年3月期中間:要約貸借対照表

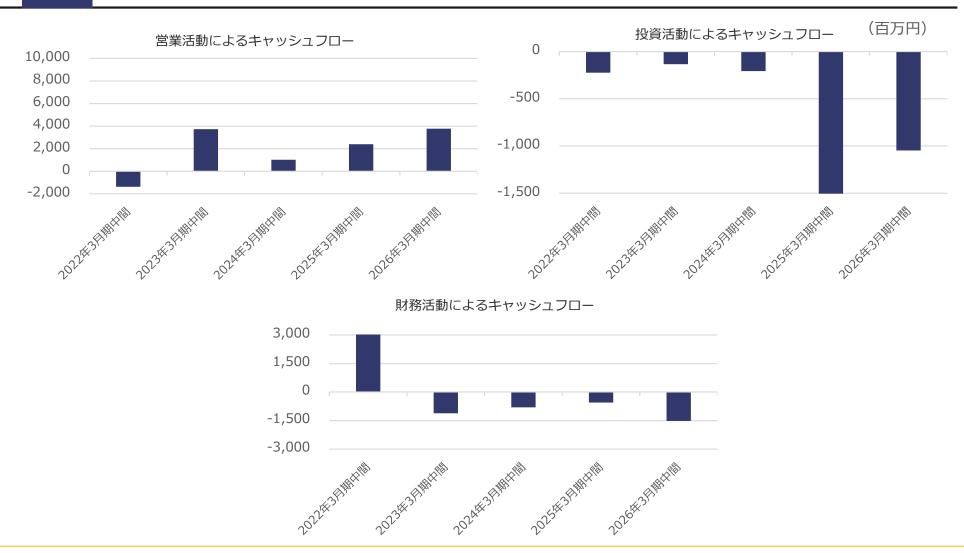
		2025年3月期	2026年3月期 中間	増減額	(百万円)
流動資産		54,169	55,140	+971	
現金及び預金		21,846	23,155	+1,309	
受取手形、売掛金	及び契約資産	25,714	24,258	▲ 1,456	
棚卸資産		5,696	7,022	+1,326	
固定資産		33,637	34,433	+796	
有形固定資産		13,871	14,441	+570	
無形固定資産		9,821	9,270	▲ 551	
投資その他資産		9,944	10,721	+777	
資産合計		87,807	89,574	+1,767	
流動負債		27,595	28,104	+509	
支払手形及び買掛金	金	4,838	4,080	▲ 758	
契約負債(前受金額	等)	11,076	13,207	+2,131	
短期借入金		6,152	5,483	▲ 669	
固定負債		14,887	15,412	+525	
長期借入金		10,594	10,962	+368	
負債合計		42,483	43,516	+1,033	
純資産合計		45,323	46,057	+734	
負債・純資産合計		87,807	89,574	+1,767	

2026年3月期中間:要約キャッシュフロー計算書

(百万円)

		2025年3月期	2026年3月期
		中間	中間
営業キャッシュフロー		2,391	3,767
	税金調整前当期純利益	742	2,136
	減価償却費	645	729
	のれん償却費	522	528
	売上債権及び契約資産の増減額(▲は増加)	2,797	1,585
	棚卸資産の増減額(▲は増加)	△1,211	△1,310
	仕入債権の増減額(▲は増加)	29	△734
	法人税等の支払額(▲は支払)	△470	△1,405
投資キャッシュ・フロー		△1,504	△1,047
	有形固定資産の取得による支出	△1,433	△1,048
財務キャッシュ・フロー		△553	△1,520
	有利子負債の純増減額	△181	△342
	配当金の支払額	△371	△559
合計		1,900	1,308
現金及び現金同等額 期末残高		24,132	23,121

2026年3月期中間: キャッシュフロー



2026年3月期 業績予想

02

連結業績予想

(単位:百万円)	2025年3月期(実績)	2026年3月期(予想)
売上高	61,861	70,000
営業利益	4,797	5,000
経常利益	5,293	5,300
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,995	3,200





配当実績と予想

[配当政策]

株主への利益還元を重要な経営課題の一つと考え以下の点を総合的に勘案し配当金を決定しております。

①長期かつ安定的な利益還元 ②当期利益の水準 ③手持受注工事の期末残高



トピックス



舞台設備事業

【2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博) EXPOホール「シャインハット」への製品納入】

2025年4月13日(日)~10月13日(月)に開催された「2025年日本国際博覧会」(以下、大阪・関西万博)において、当社とテルミック社が協働でEXPOホール「シャインハット」に吊物機構および映像装置を納入いたしました。

EXPOホールは、約1,900席を備えた円形劇場で、開閉会式や音楽、演劇、フォーラムなど多目的に使用されます。鉄骨造の2階建て構造であり、床面積は8203.91㎡、円形ステージ直径は18m、ホール内360°のプロジェクションマッピングが可能です。

デザインは1970年の大阪万博の「太陽の塔」を連想させるもので、黄金の大屋根と荒々しい 壁面が特徴です。客席と舞台が一体となった円形劇場は、「いのち輝く未来」を象徴する祝祭空 間を創り出しました。







(協力:2025年日本国際博覧会協会)

舞台設備事業

【GLION ARENA KOBEにセンターハングビジョン昇降装置(ビジョンフレーム含む)を納入】

「神戸から感動と興奮を発信し、世界へ羽ばたく姿」を表現したGLION ARENA KOBEは2025年4月にオープンした最大1万人を収容できるアリーナです。

臨場感あふれる観戦体験を提供する次世代アリーナとして、バスケットボールはもちろん、幅広い自主イベントを想定し、壁面には高さ13m、幅24mの一面ビジョンを配置しています。全席から視認性の良い360度センターハングビジョンは、全50基もの高性能スピーカーと組み合わさり、大迫力のエンタメ空間を演出します。

当社は、このセンターハングビジョンの昇降装置及びビジョンフレームを納入いたしました。





舞台設備事業

【「フライングシステム」プロトタイプ開発】

当社は、フライングシステムのプロトタイプを開発いたしました。

フライングシステムは、2~4本のワイヤ結合点をXYZ軸の3次元で精密に制御する自社開発製品です。減速機不要のダイレクトドライブモータを採用した専用マシンは、小型・シンプルな構造で仮設にも対応しています。安全性を重視し、ダブルブレーキを標準装備しています。操作は3次元ジョイスティックによるマニュアル運転に加え、軌跡を記録・再生するレコード運転や、複数ポイントをスムーズにつなぐキュー運転も可能です。

今後、一段と技術面の検証を進めて、開発に取り組んでまいります。

「フライングシステム」プロトタイプ開発詳細







遊戯機械事業(Vekoma社)

【北米初ティルトコースター「Siren's Curse」のCedar Pointへの製品納入】

Vekoma Rides社は米国オハイオ州のCedar Point遊園地において、北米初となるティルトコースター「Siren's Curse」を納入・設置し、正式に運行を開始いたしました。

「Siren's Curse」は、Vekomaが開発した次世代型ローラーコースターであり、乗客は約49m の高さまで上昇した後、線路が垂直に傾く革新的な「ティルト」動作を経て、急降下とともに13 回のエアタイム、2回の360度回転、トリプルダウンなど多彩なコースを楽しんでいただけます。 Vekoma社は今後も、世界中のパートナーとともに、安全性と革新性を兼ね備えたアトラクションの提供を通じて、驚き、スリル、そして笑顔を届けてまいります。

北米初ティルトコースター「Siren's Curse」詳細





会社概要

04

会社概要

会社名: 三精テクノロジーズ株式会社

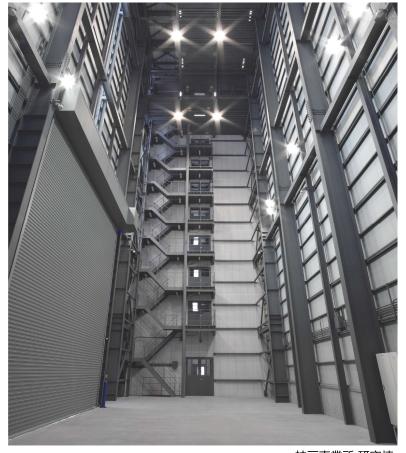
設立 : 1951年2月27日

資本金 : 3,251百万円 (2025年3月末現在)

売上高(連結) : 61,861百万円(2025年3月末現在)

従業員(連結): 1,382人(2025年3月末現在)

上場取引所:東京証券取引所 スタンダード市場



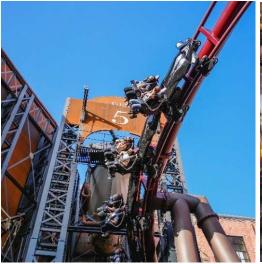
神戸事業所 研究棟

事業紹介:遊戱機械

テーマパーク、その世界に入り込んで、記憶に残る楽しい時間を過ごすこと。 グループ企業であるS&S Worldwide(アメリカ)、Vekoma Rides(オランダ)、 FORREC(カナダ)と共に、コンセプトデザインからアートディレクション、そして 遊戯機械の提供まで、その素晴らしい体験を世界中にお届けします。









事業紹介:舞台設備

1952年から舞台機構の老舗メーカーとして国内トップの納入実績を有しています。その豊富な経験を元に、様々な用途・演出に対応する常設の舞台機構設備を提供するとともに、テルミックは国内大物アーティストのコンサートからTV番組、イベントに向けて様々なサービスを提供してきました。お客様を別世界へと誘う感動をお届けするバックステージを支えながら、出演者が輝くための演出プランをカタチにし、観客に最高の瞬間を提供できるように支えています。また、製品ライフサイクルの全てをサポートする充実した保守・改修体制を確立しています。









事業紹介:昇降機

昇降機事業では、住宅用エレベーターからダム用エレベーターまで多種多様な昇降機を 取り扱っております。

また、昇降機の機器管理・メンテナンス(遠隔監視、定期保守、法定点検・検査)から改修工事まで、24時間365日、製品ライフサイクルの全てをサポートする充実した体制を確立しています。

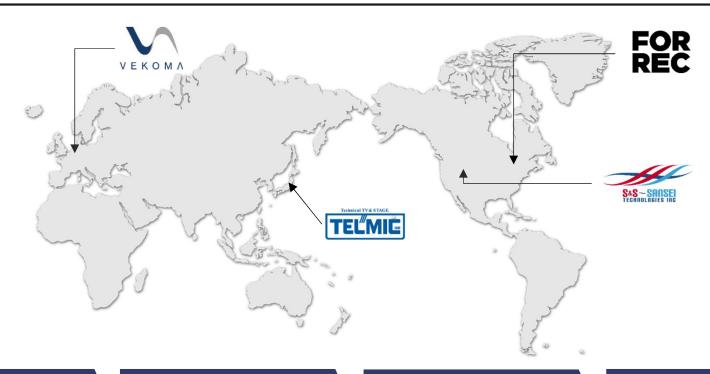








事業紹介:主要グループ会社紹介



テルミック(日本)

コンサート・テレビ番組・舞台・イベント等、常に進化し続けるエンターテインメントに対応する仮設舞台設備・電飾装置・映像コンテンツ等をご提供いたします。

S&S Worldwide(アメリカ)

スリル感あふれるライドを世界中に展開しています。ローラーコースター、スイング、タワー等の設計、製作、据付、アフターサービスをご提供いたします。

Vekoma Rides(オランダ)

高品質で革新的なコースターで知られるグローバルなリーディングカンパニーの一つです。ローラーコースター等の設計、製作、据付、アフターサービスをご提供いたします。

FORREC(カナダ)

世界中の遊園地、テーマパーク、商業施設に対して、魅力あふれるコンセプト提案、デザイン計画、コンサルティングサービスをご提供いたします。



ご留意事項

- 当資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。また、 当社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。
- 投資を行う際には、必ず当社が発行する有価証券報告書等の財務資料をご覧いただいた上で、 ご自身の判断でなされるようお願い致します。
- 内容につきましては細心の注意を払ってはおりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料 に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社および情報提供者は一切 責任を負いかねます。
- 当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、 将来の実績等に関する見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んで おります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となる ことがあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承 ください。

この資料に関するお問い合わせは 三精テクノロジーズ株式会社

https://www.sansei-technologies.com/contact/

